

## 会議録

会議名	令和7年度第1回木更津市市民活動支援センター運営協議会			
開催日	令和7年10月17日（金）	場所	木更津市立中央公民館	
時 間	午後2時00分から午後3時10分まで		第2会議室	
出席者	○委員 湯谷 賢太郎、平野 秀樹、神谷 啓子、白石 耕一、矢部 牧子、中村 恒己、 鈴木 喬裕、本吉 明美、朝長 菜穂子（10名中9名出席） ○指定管理者（三幸株式会社南総支店） 小澤支店長、齋藤課長、鳥海センター長、 ○木更津市 鈴木市民協働部長、榎本市民活動支援課長、島村市民活動係長、平松主任主事			
議題	(1)会長及び副会長の選出について (2)令和7年度事業の実施状況について (3)（仮称）木更津市民交流プラザ整備事業の進捗状況について			
公開・非公開の別	公　開	非公開理由	—	
傍聴人	1人			
概要	下記のとおり			

（概要）

### ○事務局（島村係長）

皆様、本日はお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます、市民活動支援課の島村と申します。どうぞよろしくお願ひします。

それでは、始めに配布資料の確認をお願いします。お手元には、表紙に本日の次第がついている冊子と、「資料2：（仮称）木更津市民交流プラザ整備事業の進捗状況について」の2つの資料を配布させていただいておりますが、不足等はございませんでしょうか。また、会議に入る前に、事務局から2点ご連絡いたします。

1点目、本会議につきましては、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例第3条に基づき、公開することとなっております。本日の傍聴人は1名です。

2点目、会議録作成のため、会議内容を録音させていただきますので、予めご了承ください。

それでは、只今より、令和7年度第1回木更津市市民活動支援センター運営協議会を開会いたします。

まず、皆様におかれましては、本協議会の委員に、ご就任いただきましたことを心より感謝申し上げます。

今回が初回の開催となりますので、簡単ではございますが、本協議会についてご説明申し上げます。

木更津市市民活動支援センターにつきましては、平成27年10月に開館し、1年半の市の直営期間を経て、平成29年4月から、指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活かした施設の管理運営や各種事業の展開をしているところでございます。

そして、本協議会につきましては、指定管理者に対し、行政からの意見だけではなく、利用者や有識者からの専門的な意見を頂戴することにより、本市における市民活動の支援及び促進と、市民活動支援センターの更なる利便性の向上を図るため、木更津市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例第27条第1項に基づき、設置しているところでございます。

本協議会の委員は10名で構成しており、委員の皆様の任期は令和9年3月31日までとなっております。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

続きまして、次第2、市民協働部長の鈴木よりご挨拶申し上げます。

#### 【鈴木部長挨拶】

#### ○事務局（島村係長）

続きまして、次第3、出席者自己紹介を行います。

今回が初開催となりますので、委員の皆様に自己紹介をお願いしたいと思います。

#### 【各委員挨拶】

#### ○事務局（島村係長）

ありがとうございました。

続きまして、本施設の指定管理者である三幸株式会社南総支店より、出席者の紹介をお願いいたします。

#### 【三幸株式会社南総支店自己紹介】

#### ○事務局（島村係長）

最後に、事務局の紹介を行います。

【事務局自己紹介】

以上となります。改めまして、よろしくお願ひいたします。

それでは、議題に入りたいと思います。

本協議会の議長は、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条第1項により、会長が務めることになっておりますが、本日初めての協議会で、会長が決定しておりませんので、会長が決定するまでの間、鈴木市民協働部長が仮議長を務めさせていただきます。

鈴木部長、議長席まで、よろしくお願ひします。

○仮議長（鈴木部長）

市民協働部長の鈴木でございます。

会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきますのでよろしくお願ひします。

まず、本日の出席委員数は9名でございます。

よって、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第17条第2項の規定により、過半数の出席をいただいておりますので本協議会は成立いたします。

それでは、これより議事に入ります。

議題1 会長及び副会長の選出について を議題に供します。

会長及び副会長の選出は、木更津市市民活動支援センター管理運営規則第16条第2項の規定により、委員の互選となっております。

選出方法はいかがいたしましょうか。

○神谷委員

事務局に一任します。

○仮議長（鈴木部長）

事務局一任との声がありましたら、事務局案はありますか。

○事務局（榎本課長）

それでは、事務局案を説明します。

会長につきましては、木更津工業高等専門学校 教授である湯谷委員を、副会長につきましては、木更津市社会福祉協議会 ボランティアセンター所長である平野委員をご提案いたします。

以上でございます。

○仮議長（鈴木部長）

事務局から、会長に湯谷委員、副会長に平野委員を推薦したいとの発言がありましたが、いかがでしょうか。

【異議なし】

○仮議長（鈴木部長）

ご異議ないと認め、会長に湯谷委員、副会長に平野委員を選出させていただきます。

それでは、今後の進行につきましては、湯谷会長に議長をお願いすることとさせていただき、これで仮議長の任を解かせて頂きます。

ご協力ありがとうございました。

○事務局（島村係長）

湯谷会長、これから議事進行よろしくお願ひします。

○湯谷会長

議長を務めさせていただきます 木更津工業高等専門学校の湯谷でございます。円滑な議事進行にご協力をよろしくお願ひします。

それでは、議題2 令和7年度事業の実施状況についてを議題に供します。三幸株式会社 南総支店から説明をお願いします。

○鳥海センター長

皆様、本日はお忙しい中、運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。ただ今より、令和7年度上半期の事業実施状況についてご報告いたします。

お手元の議題資料は既にご覧いただいていることと存じますので、本日は特に、私たちが上半期に注力した取り組みと、それを踏まえた下半期の計画を中心に、皆様からご意見を賜りたく、ご説明させていただきます。

1. 上半期の全体概況

まず、全体の利用状況につきましては、議題資料にございます通り、会議室・フリースペースともに利用者数・利用件数ともに前年度並みを維持しております。

夏季の一部月で見られた利用者数の減少は、高頻度で利用されていた企業からの一時的な利用減や、フリースペースで開催していた事業が定員超過のため他施設へ会場を移したことが主な要因であり、特殊要因によるものと分析しております。また、館内環境に関しましても、アンケートで頂いた「掲示物が見づらい」との声を反映し、ポスター等をジャンルごとに区分けするなど、利用者満足度向上のための改善を継続的に進めております。

## **2. 上半期の主な取り組みと成果**

上半期は、単に場所を提供するだけでなく、市民活動の「質」を高め、新たな「つながり」を生み出すことを目指し、3つの柱で事業を展開いたしました。

### **2.1. 人的・物的リソースの効率的運用と市民活動の質の向上**

センター内部の体制強化として、スタッフの役割分担を明確化し、定期的なミーティングで事業の振り返りを行うことで、運営の効率化を図りました。また、登録団体情報のデータベース化を進め、団体間の人材シェアリングを試行するなど、センターが持つリソースを最大限に活用する仕組みを構築しました。これらの取り組みは、具体的な事業成果にも繋がっています。

情報発信力の強化として、4月の「目に留まるチラシ作成教室」や9月のウェブサイト作成講座では、高齢者やデジタル活用に不慣れな方々にも学びやすい環境を提供し、ICTへの苦手意識の緩和に貢献しました。特に9月の講座では、参加者全員が自身のウェブサイトを完成させるという具体的な成果を得られました。

連携力の強化として、8月の「全登録団体交流会」では、木更津社会福祉協議会との共催により、福祉やまちづくりといった分野を超えた団体間の連携が生まれるきっかけを作ることができました。

### **2.2. 若年層・移住者を対象とした地域密着型の体験イベント**

新たな担い手の発掘と地域愛の醸成を目指し、若年層や移住者の方々を主な対象とした、地域の歴史や自然に触れる体験イベントを企画しました。

10月には、登録団体と協働し、太田山公園でのガイドツアーを実施し、参加者から大変好評をいただきました。また、10月下旬には地元企業と連携し、親子向けの自然体験会を予定しており、食育や環境保全への関心を高める機会を提供します。

これらの活動を通じて、地域の魅力を再発見し、市民活動への参加意欲を高めることを目指しています。

### **2.3. 防災・減災プログラムによる地域連携の強化**

地域の安全・安心への貢献も重要な柱です。9月に予定していた防災講座は、申込者数が最少催行人数に達しなかったため、開催を延期いたしました。

しかし、これを教訓に申込者や利用者の声を丁寧にヒアリングし、内容をより実践的で参加しやすい「災害時を想定した防災パッククッキング」に変更いたしました。広報戦略も見直した上で、来年1月に開催することとし、準備を進めております。また、11月には社会福祉協議会主催の防災講座にも協力予定であり、関係機関との連携を強化して参ります。

## **3. 下半期への取り組みとご相談**

これらの上半期の成果と課題を踏まえ、下半期は4つの取り組みをさらに強化して参りたいと考えております。

### 3.1. 地元企業との協働強化

上半期の活動を通じ、私たちの課題は「地元企業との繋がりの弱さ」であると再認識いたしました。下半期は、企業のCSR活動と市民活動を結びつける施策を具体的に展開します。例えば、明治安田生命様には清掃活動等へのボランティア参加を打診しており、企業にとって地域貢献や人材育成の機会となるような、持続可能なパートナーシップを構築したいと考えております。

### 3.2. 外国人移住者への対応力強化

近年、外国人移住者からの相談が増加傾向にあります。これは、地域にとって大きな可能性であると捉えています。下半期は、スタッフ研修による多文化対応力の向上、館内案内の多言語化、そして言語への依存度が低い清掃活動や防災ワークショップといった「外国人向け市民活動体験会」を試行する計画です。国際交流協会等とも連携し、地域で孤立しがちな外国人住民の参加を促します。

### 3.3. 防災・減災における地域連携の深化

上半期の経験を踏まえ、防災・減災においては、より実践的なプログラムと関係機関とのネットワーク構築が不可欠です。下半期は、社会福祉協議会との共同事業への積極的な参画に加え、避難所運営のシミュレーションなど、より踏み込んだ連携事業を模索し、地域全体の防災力向上に貢献して参ります。

### 3.4. 若年層・移住者を対象とした体験型プログラムの継続

上半期に手応えを感じた、地域の歴史文化や自然をテーマにした体験プログラムを継続・発展させます。これにより、新たな市民活動の担い手を育成し、多様性のあるコミュニティ形成を促進します。一過性のイベントで終わらせらず、参加者が次の活動へと繋がるような工夫を凝らしてまいります。

以上が、令和7年度上半期の事業報告と、下半期に向けた計画の概要です。

私たちは、市民一人ひとりの「やってみたい」という想いを形にし、活動を通じて地域を豊かにしていく拠点でありたいと願っております。本日ご提案した下半期の取り組みをより実りあるものにするため、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

よろしくお願いします。

#### ○湯谷会長

説明が終わりました。それでは、説明内容に対するご意見、ご提案等ありましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。

#### ○中村委員

運営協議会の参加は初めてのため教えていただきたいのですが、市民活動支援センターと公民館の違いはなんでしょうか、

○鳥海センター長

市民活動支援センターは、公民館で活動しているサークルとは違い、非営利で地域課題の解決に取り組んでいただいている団体を支援している施設となっております。

○鈴木委員

下半期の取り組みとして、外国人移住者への対応力強化を掲げているのは、すごい良い取り組みだと感じています。木更津市は羽田空港と成田空港どちらからもアクセスがいいと思っているので頑張っていただきたいです。

○白石委員

現状では、外国人の方とみらいラボで合同で事業を実施している事例はあるのでしょうか。

○鳥海センター長

現時点ではそういう事業はないのですが、外国人の方から、地域で市民活動を行うにはどうしたらしいのかという相談が最近多くなってきています。そういうことを踏まえて、外国人移住者への対応力強化を下半期の取り組みとして、掲げました。

○湯谷会長

相談に来る外国人の方はどうやって市民活動支援センターのことを知ったんでしょうか。

○鳥海センター長

市民活動支援課からの紹介や、知人から教えてもらったという方が多いです。

○湯谷会長

口コミで広まっているということなんですね。外国人の方はどのような市民活動をしたいという相談がありますか。

○鳥海センター長

フリーマーケットを開催したいという相談があったため、登録団体とマッチングさせたという実績があります。

○中村委員

活動をしていく上で、イベント運営のノウハウがないので、市民活動支援センターでそういった支援はしていただけるのでしょうか。

○鳥海センター長

全登録団体交流会やボランティアマッチングプログラムにおいて情報共有ができる機会を設けて

おります。また、スタッフによる相談は随時受け付けているため、是非活用いただければと思います。

○中村委員

相談するまでではないなということもあるため、もう少し他の登録団体のことが分かるような資料がほしいです。そうすることによって他の団体ではどのようなことをやっているのか見ることができるために、自己完結させたいときに便利だなと思います。

○鳥海センター長

団体情報はホームページで公開するとともに、市民活動支援センター内に団体ごとの資料をまとめていますが、初めて来た方でも分かりやすいように改善していきます。

○湯谷会長

チラシやHP作りなどの自主事業を実施していますが、参加者がその後になにか作ったという実績はあるのでしょうか。

○鳥海センター長

参加いただいた方からは、実際にこういったものを作りましたよという報告をいただいています。

○湯谷会長

そういう実績はもっとアピールしたほうがいいと思います。アピールすることによって、他の団体も興味を持って参加者数の増加に繋がるかもしれない。

○朝長委員

自主事業の参加目標者数は設定しているのでしょうか。

○鳥海センター長

設定していますが、目標者数には届いていないのが現状です。次からは資料に目標者数も記載します。

○湯谷会長

質疑終了とします。

続きまして、議題3 (仮称)木更津市民交流プラザ整備事業の進捗状況についてを議題に供します。事務局から説明をお願いします。

○事務局（平松主任主事）

(仮称) 木更津市民交流プラザ整備事業の進捗状況についてをご覧ください。

令和10年4月の開館を目指している(仮称)木更津市民交流プラザにつきましては、これまでアンケートやワークショップ、市民活動支援センター運営協議会を通じて、市民や委員の皆さんから「どのような施設になってほしいか」についてご意見を伺いながら、検討を進めてまいりました。い

ただいたご意見を基に、多目的室などの各諸室のレイアウトが確定いたしましたので、交流プラザの概要と併せて、ご説明させていただければと存じます。

1ページをご覧ください。「施設概要」についてでございます。はじめに、「目的」につきましては、市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」と、中央公民館自習ワークスペースを複合化し、市民が憩い、集えるような機能を持たせることにより、利便性の向上、賑わいの創出、及び中心市街地の活性化を図るため、(仮称)木更津市民交流プラザを設置するものでございます。

次に、「規模」につきましては、駅前新庁舎の2階に1フロアで、約1,200平方メートルの広さ、「休館日」につきましては、12月29日から1月3日までの年末年始のみ、「開館時間」につきましては、午前8時30分から午後9時まで、「機能」につきましては、①市民活動支援カウンター、②情報発信スペース、③交流・閲覧図書スペース、④スタディ＆ワークスペース、⑤多目的室、⑥カフェ、⑦スタジオの設置をそれぞれ予定しております。これらにより、交流、活動、学びによる賑わいを創出し、市民活動のさらなる推進と中心市街地の活性化を図ってまいります。

続いて、2ページをご覧ください。こちらは、駅前新庁舎の外観イメージとなります。

駅西口の立体駐車場の跡地に建設予定であり、5階建ての建物となっております。1階には駐車場や食堂、2階には(仮称)木更津市民交流プラザ、3階と4階には市役所スペース、5階には議会事務局を含む市議会スペースを整備する予定でございます。

続いて、3ページをご覧ください。「レイアウト図・平面図」についてでございます。

はじめに、平面図の一番右、茶色の通路につきましては、木更津駅から直結する接続通路でございます。接続通路を渡っていただきますと、図面右下に交流プラザの出入口となる風除室がございます。そこから施設に入っていただきますと、正面に見える情報発信スペースには、デジタルサイネージを配置し、観光情報の発信や市民活動団体の紹介などを行う予定でございます。情報発信スペースの先には市民活動団体の相談窓口となる市民活動支援カウンターを配置しております。こちらの窓口では多目的室などの貸出手続きも行う予定でございます。また、市民活動支援カウンターに隣接しているベビールームの左側には、講演会や、打合せなどで使用する多目的室を設置しており、定員10名程度の部屋を1つ、定員12名程度の部屋を1つ、定員20名程度の部屋を1つとしております。

図面左下には、定員54名程度の多目的室と、自習や仕事に利用できるスタディ＆ワークスペースを配置しております。この2つの部屋は、可動式の間仕切りで仕切られていることから、一体的に利用することができ、100名程度の利用が可能となります。また、机や椅子も可動式となっていることから、目的に応じ、レイアウトを自由に変更することができます。

スタディ＆ワークスペースの右隣には、防音となっているスタジオを配置しており、動画撮影や

録音を行う場所として、また、防災・イベント情報の発信など、放送事業者のサテライトスタジオとして利用することも検討しております。

図面中央には、様々な世代が憩い、交流する場として、カフェの配置を予定しております。このカフェを取り囲むように交流・閲覧図書スペースを設け、予約をしなくても利用できるオープンな空間として、カフェを楽しみながら勉強や読書、打合せなどができる空間としております。なお、こちらには、議会中継などを映すためのモニターを設置する予定でございます。

続いて、4ページをご覧ください。「レイアウト図・イメージ画像付き」についてでございます。これは、各諸室のイメージ画像を貼り付けております。入口の風除室付近に、情報発信スペースや、カフェを配置することで、施設への入りやすさを演出し、家具などを通して、自分の目的にあった場所を選び、ゆっくりと時間が過ごせる、居心地の良い空間を提供したいと考えております。なお、貼り付けている画像は、あくまでもイメージであり、実際に配置する家具とは異なりますので、ご承知おきいただきたいと存じます。

続いて、5ページをご覧ください。「内観パース図」についてでございます。これは、市民活動支援カウンターからカフェの方向を見たものとなっております。

最後に、6ページをご覧ください。「今後のスケジュール」についてでございます。現在、空間デザイン提案業務において、交流プラザの内装デザイン、家具・備品などの検討を行っており、本年12月までに取りまとめる予定でございます。その後、令和8年9月の市議会定例会において、交流プラザに係る設置管理条例案の提出、令和8年12月頃に開館準備業務を含む交流プラザの管理運営を行う指定管理者の公募を行う予定でございます。その指定管理者は令和9年8月頃から開館準備業務に入り、令和10年4月のオープンに備える予定でございます。

以上が、(仮称)木更津市民交流プラザ整備事業の進捗状況についてとなります。

委員も変更となり、本事業のことを初めてお聞きになる方もいらっしゃるかと思いますので、改めてご説明させていただきました。

委員の皆さんにおかれましては、交流プラザをどのように活用したいか、また、どのような事業を実施してほしいかなど、ご意見をお聞かせいただければと存じます。

例えば、現在の市民活動支援センターの会議室は、登録団体の皆さんに無料でご利用いただいておりますが、「予約不要で自由に使えるスペースが確保されているため、交流プラザの多目的室は登録団体も有料でいいのではないか」といったご意見も説明会等でいただいております。

登録団体の多目的室利用料を有料とするか、無料とするかなど、今後の運営方法を検討する上での参考とさせていただくため、皆さまの率直なご意見をいただけますと幸いです。

私の説明は、以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○湯谷会長

説明が終わりました。それでは、説明内容に対するご意見、ご提案等ありましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。

○鈴木委員

多目的室を有料・無料とするかということですが、私が団体として活動するときは、会議室などを借りてワークショップを開催しています。そういったことを考えると多目的室の利用料は無料又は減額としていただける制度があると助かります。

○神谷委員

中央公民館の自習スペースが移転することは分かったのですが、会議室などの事務的機能はどうなるのでしょうか。

○事務局（島村係長）

中央公民館は交流プラザではなく、吾妻文化芸術施設が完成したらそちらに移転することとなっています。

○神谷委員

住民票などが取れる場所は駅周辺からはなくなるということでしょうか。

○事務局（島村係長）

駅周辺にはなくなるということになります。

○神谷委員

交流プラザ多目的室の利用料ですが、現在公民館を利用しているサークル団体は有料、市民活動支援センターの登録団体は無料という可能性もあるのでしょうか。

○事務局（平松主任主事）

サークル団体は有料、登録団体は無料としてしまうと不公平感が生まれてしまう可能性があるため、そのバランスを考えているところでございます。委員の皆様からのご意見を基に事務局としてどのようにしていくか検討していきたいと考えております。

○白石委員

かなり広い施設になると思いますが、管理する職員は何名ほど必要になってくるのでしょうか。

○事務局（平松主任主事）

具体的に何名必要とは申し上げられませんが、市民活動支援センターでの業務とカフエ業務を行う職員が必要になってくるため、多くの職員が必要になってくると考えています。

○白石委員

カフェの運営は施設の管理事業者と同じ事業者が運営するのでしょうか。

○事務局（平松主任主事）

カフェの運営については、指定管理者の直営又は指定管理者からカフェ事業者への委託どちらでも可能としております。

○中村委員

多目的室の利用料についてですが、登録団体は回数券を交付するなどのやり方もいいんじゃないかなと思いました。

○朝長委員

スタディ＆ワークスペースは無音のスペースということですが、無音ではなく、交流できるような部屋にしてもいいんじゃないかなと思いました。

○事務局（島村係長）

スタディ＆ワークスペースは、中央公民館の自習スペースがなくなってしまうため、設置した部屋となっておりますが、勉強を目的に来た方が交流プラザで行われている事業に興味を持っていただき、新たな交流が生まれるような仕掛けはしていきたいと考えております。

○中村委員

情報発信スペースについてですが、チラシやパンフレットだけを置くスペースとするのではなく、掲示板のような誰でも書き込めるボードなどを遊び心として設置してもいいなと思いました。また、子どもが遊べるようなスペースがないので併せて設置してもいいのかなと思いました。

○事務局（平松主任主事）

情報発信スペースについては、委員がおっしゃるようにチラシやパンフレットだけ置いてあるような空間にならないよう検討してまいります。また、子どもが遊べるスペースにつきましては、運営開始後にご意見をいただいた際には、レイアウトの変更などを含め、柔軟に対応してまいります。

○矢部委員

かんでんちは18時までしか受け入れができないため、交流プラザのように18時以降も学生が滞在できる場所ができると非常にいいなと思いました。とても楽しみです。

○平野副会長

駅前新庁舎の1階にはどのような施設が整備されるんでしょうか。

○事務局（平松主任主事）

1階は駐車場や食堂などの整備を検討しております。

○平野副会長

交流プラザの利用者を想定しての駐車場となるのでしょうか。

○事務局（平松主任主事）

駐車場の台数が限られていることから、成就寺駐車場に加え、駅前新庁舎周辺において新たな駐車場の確保について検討を進めております。

○中村委員

交流プラザでイベントを行う場合、ペデストリアンデッキなど、どの範囲まで活用できるのでしょうか。

○事務局（平松主任主事）

多目的室の他、指定管理者や市民活動支援課と事前に協議していただく必要はありますが、ペデストリアンデッキや交流・閲覧図書スペースの一部を活用することを考えています。

○湯谷会長

多目的室の有料化についてですが、打ち合わせなどで利用する際は有料にして、ワークショップなど市民のための事業を行う際には減額とする方法もいいかなと思いました。また、実際に運営が始まった後にどのくらい交流・閲覧図書スペースに人が埋まるか分からぬいため、交流・閲覧図書スペースの一部の席については、登録団体が予約できるようにするなどの対応をしていただけると助かるなと思います。

○事務局（平松主任主事）

柔軟に対応してまいります。

○湯谷会長

質疑終了とします。

以上で、本日、予定された議題が終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。  
円滑な議事進行にご協力をいただき、ありがとうございました。

○事務局（島村係長）

湯谷会長 議事進行ありがとうございました。また、委員の皆様もご質疑ありがとうございました。  
引き続き、市民活動の支援・促進、交流プラザの整備に努めてまいりたいと思います。

最後に、次第5 その他でございますが、全体を通して、何か連絡事項等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

【連絡事項等なし】

○事務局（島村係長）

以上をもちまして、令和7年度第1回木更津市市民活動支援センター運営協議会を終了といたします。ありがとうございました。